国華産業株式会社
KOKUKA SANGYO Co.,LTD

2025 年 3 月 25 日

# メタノール燃料内航ケミカルタンカーの建造決定

国華産業株式会社（東京都港区:代表取締役社長 今川 公史）は、この度メタノールを主燃料とする内航ケミカルタンカー「以下、本船」の建造を決定致しました。本船建造は、興亜産業株式会社（香川県丸亀市:代表取締役社長 真砂 徹）へ発注、2026 年 9 月末竣工を予定致しております。

現在本邦では、内航海運の二酸化炭素（CO2）排出削減目標を、2030 年度時点で 2013 年度比約 17%減（約 181 万トン減）としておりますが、新たに 2040 年度時点で 2013 年度比約 36％減（約 387 万トン減）へと、一層厳しい新たな目標を反映すべく作業が進んでおります。

内航船舶の脱炭素化に向けては、様々な代替燃料に期待が集まる中、メタノールは常温常圧の液体で取扱いが容易なこと、比較的既存船と類似した同船型にできること、本邦での調達・供給体制も整っていることに加え、重油と比較すると燃焼時の硫黄酸化物（SOx）、粒子状物質（PM）、窒素酸化物（NOx）、二酸化炭素（CO2）の排出量削減が見込まれます。

本船竣工後は、三菱ガス化学株式会社（東京都千代田区:代表取締役社長 藤井 政志）を傭船先とし、国内メタノール輸送に従事するとともに、メタノール燃料バンカリングにも従事する予定です。

加えて、三菱ガス化学株式会社は CO2 や廃プラスチック、バイオマスなどを原料とする環境循環型メタノール構想「Carbopath™」の社会実装に取り組んでおり、将来的には、本船燃料もグリーンメタノールを使用することで、さらなる CO2 排出量削減が可能となります。

本船建造を通じ、内航海運 CO2 排出削減目標へ普及促進、脱炭素化への実現に向け貢献して参ります。

「本船の概要」　総トン数　約 499 トン
全長　約 65.00m
全幅　約 10.00m
主機関　1000PS　阪神内燃機工業㈱製「LH28M」

※本船建造事業は、環境省（国土交通省連携事業）が公募した「令和 6 年度海事分野における脱炭素化促進事業（うち LNG・メタノール燃料システム等の導入支援事業）」に応募し、採択をうけております。比較対象船舶との比較では、CO2 排出削減効果約 17.5%が見込まれます。

以上

【お問い合わせ先】　国華産業株式会社 管理部　TEL:03-6367-5710